

今週のモーニングセミナー報告

令和5年2月22日(水)の講話 <第929回>

テーマ:「Σ(┌ロ┐Ⅲ)がーん癌と診断されました」

講師: (一社)倫理研究所 法人局 法人レクチャー 山田祐司 様

(松浦 清貴 会長) 最近衝撃を受けたこと、先週定員96人のところ57人の受験応募だった三本松高校、二次締め切りでまだ応募を受け付けしているが、残念なことでした。東かがわ市の元気のないと思ったりすることの一つでした。

(山田 祐司 法人レクチャー) 昨年倫理塾最後の特別会の時(7月10日)その時、咳がゴボゴボと、その日の夜39度以上の熱。病院でコロナだと診断され自分が感染したことの自覚とショックでお金も払わずに帰宅しようとした。後に血痰が出て他の疑いもあると診断され、屋島病院でCT撮影されたが、他の内視鏡病院へ行ってほしいとケンモホロロの対応。紹介状も書いてもらえず、日赤へ喉にポリープがある、カメラが入らない、拒絶している自分がある。任せる気分になった時ポロっと入った。内視鏡の時も咳が出る。診断は肺に腫瘍がある。細胞はガンです。クラス5です。その後手術、自分で歩いて手術室へ。口にマスク麻酔をする。そのまま帰ってこない人がいると伝えられて、緊張。すべてを受け入れる、手術は終わった。HCUの部屋で30分に一度2分間隔で緩和剤。痛くて眠れない。寝返りしても痛い。四日後に帰宅。不安になりK研究員から倫理指導を受ける。心配事をしていたのでと問われる。従業員3人の退社。ケチをつけていた。攻める心で居た。攻めたりしていたことがガンを呼んだ。縦横十字のグラフから良-嫌い。悪い-好き。来ていますか? 即行即止の実践のむつかしさと取り組むポイントを経験から話していただきました。分かり易く体と心の関係がよく分るご講話でした。

担当者: 赤山 芳隆

昨年7月に咳とともに赤い血がでた。その日にコロナ陽性となり療養期間があけて、診察を受けてがんと診断された。9月1日に手術した。麻酔する時に麻酔によって何人かに1人は亡くなってしまうのよねえとお医者さんが話しして恐怖を感じて手術台から逃げ出そうと思った。3時間の手術後に目が覚めたときの生きている喜びを話されました。麻酔が切れてからの痛みがハンパない痛み。痛風にも以前なったことがあるがそれよりも痛かった。入院後に自宅に帰ったが階段を上るだけで息切れする、生活をやっていけるだろうかという不安な気持ちを話されました。倫理指導も受け心配事について話されました。従業員とのコミュニケーションの大切さ、従業員は家族でいうと子供にあたるので今はコミュニケーションを実践している話をされました。倫理塾生1期生として今も活躍されている山田さんですが、多くの苦勞をされたと思いますし勉強になりました。ありがとうございました。

会長: 松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは3月1日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「役を頂き、役を演じ、役に立つには」と題しまして香川県倫理法人会 副事務長 喜田浩一様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 14社 14名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp